

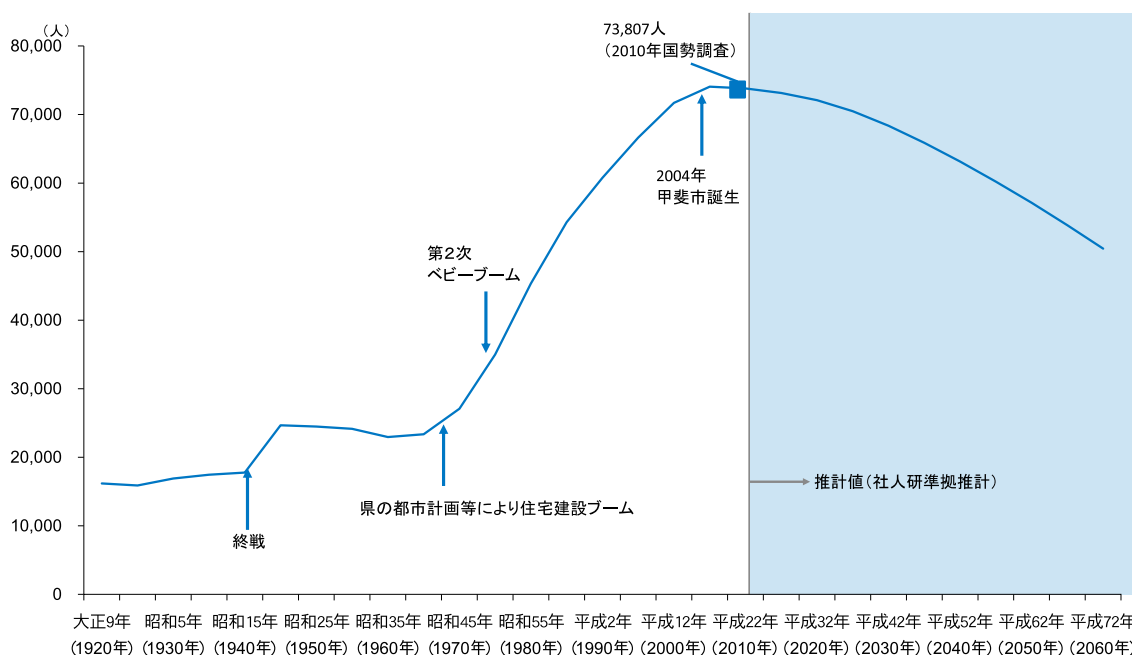
第2章 人口推計と目標人口

(1) 甲斐市の人口の推移

本市では、昭和32年（1957年）から昭和52年（1977年）の20年間において、公営住宅の建設、交通基盤整備（中央線甲府高尾間複線化、甲府バイパスの開通）などインフラ整備が急速に進められ、特に竜王地区では前年比6～13%という高い比率で人口が増加し、昭和49年（1974年）には人口増加率が県下1位となり、甲斐市の人口増加をけん引しました。

昭和50年（1975年）から昭和55年（1980年）の5年間には、甲斐市内を横断する中央自動車道、国道20号（双葉工区）、県道敷島竜王線、茅ヶ岳広域農道など国県道が開通し、昭和60年（1985年）前後には双葉地区拠点工業団地へ多数の県外企業の進出がありました。また、ベビーブームによる「自然増」で小中学校の建設が進められるなど、昭和55年（1980年）以降、平成13年（2001年）まで前年比1～4%程度で人口増加してきました。

国勢調査による甲斐市の総人口の推移と推計



資料：国立社会保障・人口問題研究所

その後、平成 16 年（2004 年）9 月 1 日の合併により約 7 万 3 千人の甲斐市が誕生しました。

第 1 次甲斐市総合計画における人口推計では、平成 27 年（2015 年）までは、1 % 弱の人口増加を見込んでいましたが、平成 22 年（2010 年）の国勢調査では人口が減少しており、第 1 次甲斐市総合計画後期基本計画「平成 23 年（2011 年）～平成 27 年（2015 年）」において人口構成を減少させる推計に転換しました。

合併効果による主要事業の展開として、竜王駅周辺及び塩崎駅周辺整備事業への取り組み、中央自動車道双葉サービスエリアへのスマートインターチェンジの開通や双葉地区拠点工業団地の拡張、山梨県住宅供給公社による大規模住宅の開発及び商業施設の配置、また、県内ではトップクラスの大規模集客商業施設の立地などにより、県内の市町村では人口減少が継続していく中、甲斐市は見直しを行った人口推移を上回る人口増となっています。

住民基本台帳では、平成 21 年（2009 年）に 74,265 人に達した以後、一時人口は微減傾向となりましたが、現状では微増傾向となっており、平成 27 年（2015 年）9 月現在で 74,874 人に達しています。

(2) 目標人口の設定

第 2 次甲斐市総合計画の目標人口の設定にあたっては、「甲斐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」（以下、「人口ビジョン」という。）による複数パターンの推計結果の検討に基づいた将来の展望人口を目標人口として設定します。

本計画期間における国勢調査人口をベースとした国立社会保障・人口問題研究所（略称：社人研）による推計と、住民基本台帳人口ベースでの甲斐市の目標人口をグラフに示します。

中間年度の平成 32 年（2020 年）の目標人口は 74,742 人、目標年度の平成 37 年（2025 年）の目標人口は 74,040 人とし、全国的な人口減少傾向が進む中で、74,000 人台を維持することを目標としています。また、人口ビジョンでは、平成 72 年（2060 年）に約 64,000 人の人口を維持することを目標としています。

本計画期間の推計人口と目標人口

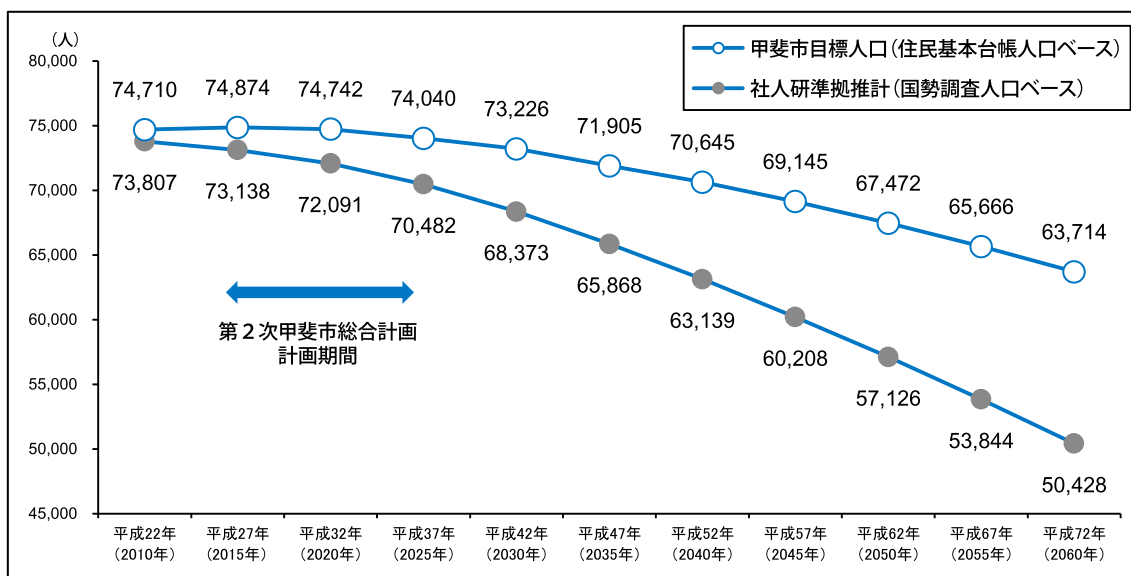
人口ベース \ 年	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)
甲斐市目標人口 (住民基本台帳人口ベース)	74,710人	74,874人	74,742人	74,040人
社人研推計 (国勢調査人口ベース)	73,807人	73,138人	72,091人	70,482人

基準年

推計値

資料：人口ビジョン

人口ビジョンにおける甲斐市目標人口



資料:人口ビジョン